

2010年度

科目名	国文学演習Ⅳ				
担当教員	高橋 圭一				
配当	国修1・国博1		コード	23900	
開期	通年	講時	火曜日3限	単位数	4
授業テーマ	江戸の本を原本で読む。				
目的と概要	江戸の写本・板本を翻刻する。一昨年度から、高橋架蔵の講談丸本(講談師がネタを読んだそのままに書き写した本)『享保太平記』に取り組んでいる。昨年までの二年間で、五冊の内二冊を活字化した。本年度はもう二冊活字化したい。また後半には、江戸の長編漫画である合巻も読む。写本・板本どちらでも読めるようになるためである。				
成績評価法	毎回の翻字の出来(70%)に平常点(30%)を加算する。				
テキスト	架蔵本のコピー、マイクロフィルムのコピーを用いる。				
参考書	授業中、随時紹介する。くずし字用例辞典／児玉幸多／東京堂出版 は持っておくべき。				
履修に当たっての注意・助言	江戸時代に書かれたもの、江戸時代について書かれたものをたくさん読むことが、最も大切なことである。				
講義計画					
第1回	実録概説。実物紹介(於図書館)。				
第2回	実録概説。 続き。				
第3回	続き。実録と講談。				
第4回	続き。丸本と点取り。				
第5回	翻字開始。昨年度までの確認、担当者決定。				
第6回	受講生による翻字。				
第7回	続き。				
第8回	続き。				
第9回	続き。				
第10回	続き。				
第11回	続き。				
第12回	続き。				
第13回	続き。				
第14回	活字化のための全体の点検、修正。				
第15回	続き。				
第16回	草双紙概説。合巻解説。				
第17回	翻字作品の決定(於図書館)。				
第18回	続き。マイクロフィルムの複写。				
第19回	受講生の翻字。				
第20回	続き。				
第21回	続き。				
第22回	続き。				
第23回	続き。				
第24回	続き。				
第25回	続き。				
第26回	続き。				
第27回	続き。				
第28回	本年度の翻字終了。活字化のための全体の点検、訂正。				
第29回	全体の点検、修正。				
第30回	続き。今年度の総括。この時点で前期の翻刻の校正も終了予定。				